



さんびょう 三錨Ⅷ

本気に 元気に 根気よく

四日市市立富洲原小学校
学校だより

No. 26

令和2年2月18日

2月13日の授業参観が中止となり、申し訳ございませんでした。
インフルエンザ等の子どもたちへの感染拡大を防ぐため、判断いたしました。
ご理解ご協力ありがとうございました。
まだまだインフルエンザの流行期です。手洗い、うがいを呼び掛けていきます。

◇校内書写展覧会

どの書写作品も真剣に取り組んだものばかりです。
学級閉鎖等もあり、ご参観できなかった方には
あらためてお詫び申し上げます。



◇6年生中学校見学

2月4日（火）6年生が中学校見学に出かけました。
これは「学びの一体化」の一環で、中学校の授業や生活を見学することで、中
学生活への期待を高める等、滑らかな小中連携を目指すものです。
「思っていたより、楽しい雰囲気での授業でした。」
「先生の話聞く時にみんな集中していた。さすが中学生。」などの感想
がありました。このあと「数学・英語・体育」に分かれて
授業体験もありました。



お願い

◇四日市市ボランティアキャンペーン アルミ缶収集にご協力

四日市市社会福祉協議会主催事業「アルミ缶を収集し、障がい者
の方々の利用している施設に寄贈するボランティアキャンペーン」
に参加します。

- ・期 間 2月19日（水）～2月26日（水）の約1週間
- ・収 集 アルミ缶のみ（水洗いをして、つぶさない）
- ・場 所 児童昇降口（1,4,6年）にて、収集コーナー設置します



アルミ缶は、社会福祉協議会を通して施設利用者さんの余暇活動や工賃に充てられます。
また3月4日～31日の期間は四日市市ボランティアキャンペーンが開催されます。

詳細は四日市市社会福祉協議会ホームページを御覧いただくか、直接お問い合わせを。

TEL 0593-354-8144（社協）

◇第6回「三錨 CS」会議

2月12日(水)、第6回三錨CS(コミュニティスクール)の会議が、富洲原中学校で開催されました。小・中学校それぞれの校長から、学校教育活動に関する報告をしたあと、委員の皆様からご意見・ご質問をいただきました。

主な意見です

・富洲原地区外からの通学児童が増えているとのこと。
地区運動会(とみすはら大運動会)や地区夏祭り(地域の伝統的祭りも含む)への参加しやすい環境を整えているが、さらに積極的に参加を促す方策を地域として考えていきたい。

・子どもたちの自己肯定感が(全国平均比較)高めとのこと、安心した。これからも子どもたちのことをよく見守ってほしい。

読書活動の推進

・学校が司書さんやボランティアさん、図書委員会と連携して読書活動を進推していることは、よくわかった。

保護者のおすすめ本を紹介したり、英語活動やプログラミングに関連する本を準備したりして子どもたちの興味・関心のもてる蔵書をこれからも目指してほしい。

ただ家庭読書については、スマートフォン等で動画鑑賞やゲームにのめり込んでしまっている子どもが多くなってはいないか、心配。

保護者との一層の連携が必要だろう。



※三錨CSは、小・中合同ということで、9年間継続して見守っていいけるというメリットがあります。学校・園、地域・保護者が連携しながら、地域の子どもたちの成長を見守り、支援をしていきたいと願っています。

◇英語落語

2月18日(火)今年も 英語落語 起時亭(おきどきてい)かんたさんに来ていただき、落語を英語で演じていただきました。

南京玉すだれの国際版も披露してもらいました。

楽しい英語活動になりました。



最後に記念撮影



東富田町で発生した事件の件での見守り等、ご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。
今後とも、子どもたちの安全安心にかかる取り組みに、ご協力を、お願いいたします。